

# かっぱ通信

2020年10月25日

vol. 134

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

秋、真ん中  
号

## かっぱの楽校 生き物講座 第104回



「生きもの講座」は100回連載を記念し、表紙ページでお届けしています。

## 東村山産ヒラタクワガタ飼育日記 2

ここ数年東村山産のヒラタクワガタを飼育しています。市内に残る雑木林や里山には多くのクワガタが棲息していましたが、ここ数年のコナラやクヌギの雑木林が宅地化され、かなりのスピードでその棲息場所が失われています。そんな環境の変化を心配しながらも、家では市内由来のヒラタクワガタを飼育繁殖させ楽しんでます。ヒラタクワガタとコクワガタは上手く育てれば、越冬して2~3年は生きています。

見かけなくなったヒラタクワガタを見つけるにはコツがあります。このあたりでは、クヌギ、コナラ、カシの木の樹液が出ている洞穴（樹洞）の中に潜んでいます。カブトムシや他のクワガタと一緒に樹液に集まっている事はあまりありません。穴の中にいるので、見つけるには懐中電灯とピンセットが必要です。木にそっと静かに近づき樹洞の中をのぞいてみましょう。でも上手く見つけられたとしても、臆病な性格なのか、すぐに穴の奥に逃げ込んでなかなか捕まえられません。その時はあきらめます。木の皮のめくれた所に潜んでいたら、決してその皮をめくったり、穴を壊したりしないで下さいね。彼らの大切な隠れ家です。本当は、そっと見守って捕まえられない事が一番よい

のですが、この黒く光って太く強そうな大アゴの魅力には、つい魅かれてしまいます。現在、家で飼育中のヒラタクワガタは10月末の現在でも、盛んに餌を食べて元気に活動しています。もしかしたら自然の中でも温かい日にはまだ見かける事があるのかもしれませんが。でも捕まえるのは来年ですね！（中谷）

## 報告「生物多様性東村山戦略の 策定について（提言）」をまとめる

北川かっぱの会では、このほど「生物多様性東村山戦略（以下、戦略）の策定について（提言）」をまとめました。これは、近年の生物多様性を保全していこうという世論の高まりを背景に、市の環境基本計画やみどりの基本計画の改訂を進めているこの時期に、この戦略についても検討すべきと考えたからです。



戦略策定の意義については、大きく二つあると考えます。一つ目は、市内の貴重な自然、特に狭山丘陵を中心とした豊かな自然は次世代に継承していくべき東村山最大の資産であると考えますが、この豊かな自然を守っていくことが東村山の存在感を高めていくことにつながっていくと考えられることです。二つ目は、生物多様性が提供している生態系サービス（供給サービス、調整サービス、文化的サービス、基盤サービス）の重要性を市民が認識することにより、持続可能な生態系サービスの利用の促進につながると考えられることです。



戦略の目標として、以下の4点をあげています。

- ①希少種を含む在来種の保全、外来種の防除（市内全域を対象、特に狭山丘陵内などの公園緑地や河川が重要）
- ②持続可能な雑木林や農地（特に市民田んぼ）の管理方法の確立
- ③持続可能な生態系サービスの利用の促進（市民の日常的な利用、週末などの市外からの利用、防災や減災、文化の継承、教育や子育てを支援など）、環境を保全していくことによる気候変動対策（緑と水の総量を確保）
- ④生物多様性の保全に向けた理解の醸成

なお、施策の基本的な方向性など詳細な内容については、8月23日付かっぱブログをご参照ください。

## 報告 北山いきものクラブ

10月18日（日）、北山公園で北山いきものクラブを開催しました。4月から8月までは緊急事



態宣言を受けて、9月と10月の第2土曜日は雨天により中止したため、今回は延期というかたちで半年ぶり、今年初の開催となりました。

この日は北川で捕獲したオイカワ、カワムツ、カマツカ、クロダハゼ、ギンブナ、タモロコ、モツゴ、スジエビ、外来種防除用の罟で捕獲したウシガエル、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメの展示もおこなわれました。特に外来種は多くの子どもたちに直接触れてもらいましたが、その感触に驚いたり笑顔になったりといった様子が印象的でした。

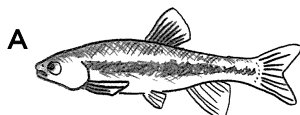
## 今年の魚類調査結果は…

魚は、次の12種類を確認できました。何れも北川のご常連で、初めて見つけたものはいませんでした。

A～Eの魚は絵とヒントで名前を当ててみてください。分かるかな？

(魚の名前クイズの答えは末ページ)

### 【特に多かったもの】



北川には2012年に初登場  
オイカワの兄弟分

### 【あまり見られないもの】

ギンブナ  
コイ  
アユ  
ドジョウ  
ナマズ  
メダカ

### 【普通に見られるもの】

#### オイカワ



Cと似るが、口が上向き



Bと似るが、ひげがある



砂底大好き ひげもあるよ



背びれは2個 お腹のひれで石などにくっつく

うれしいことに、B、C、Dが昨年に比べて増えているようでした。特にBとCは公園内にもたくさんいて、水路では子供たちの良き相手になっています。

魚以外の生き物の顔ぶれもほぼ例年同様でしたが、コロナ禍で9月上旬まで、外来種対策がほとんど行えなかった事もあり、主に北山公園内でウシガエルの幼生(オタマ)と幼体(小カエル)が沢山みられました。北川ではアメリカザリガニや小型のエビ類が例年よりかなり少なく感じられました。〈康〉

※実施時期:例年は8月上旬 今年は諸事情により9月中旬  
詳細な結果(経年データ)は、↓でみられます

北川かつばの会 HP内 ⇒ '北川の調査結果' ⇒ '魚類調査'

## 北川かっぱの会の原点（第3回）

### 北山公園再生計画で揺れていた頃

北山公園は1976年に都市計画決定し、その後1985年にかけてあぜ道や水路、野鳥遊水池、あずま屋などが整備され、八国山と一体的な里山景観を有する自然を重視した公園づくりが行われてきました。

そんな中、1989年に市が「北山公園再生計画（以下、再生計画）」を策定しました。再生計画は、菖蒲の連作障害を避けるために土壌を入れ替える工事を行うこと、公共下水道の整備に伴う北川の水量減に対応するためにポンプによる循環方式水路の整備を行うこと、売店や休憩所、花壇等を新設するなどの他、田んぼを芝生広場に、野鳥遊水池を人工的な池に改良し、新たにコンクリート製の水路や溪流（ポンプにより水を循環）をつくるなどの内容が盛り込まれていました。一方、市民が計画概要を知ったのは、5か年にわたる工事の内、当初2か年の工事（野鳥遊水池の地底固化や沈砂池と循環濾過ポンプピット造成）が終了した段階の1991年でした。

1991年に市民団体「北山公園連絡会」が結成され、市への説明会開催の要求、市民の声を反映させた計画づくりなどの主張がなされました。再生計画は里山景観にそぐわない人工的な施設で構成され、市議会では工事予算案承認済だったものの市民への説明会等はなかった点が問題視されました。当時は長良川河口堰反対運動の影響もあり、全国的にも公共工事の実施の意思決定のプロセスへの市民参加の方法が問われはじめていました。その後、3か年目工事着手時に市民による工事阻止運動、市民プランの提案や市民による北川の水量調査の実施、市議会での紛糾などがありましたが、市民と市との対立の中、工事は実施されました。3か年目の工事は、その後の話し合いに基づき計画内容に若干の修正はあったものの工事は竣工し、この3か年目の工事が終了した姿で、現在の北山公園の原型ができました。

以上の対立路線を経て、1990年代後半以降に市と市民との協働路線が台頭してくることになりました。（ベジタ清水）



## 東村山の方言の中のいきものたち 第八回 最終回・前編「まっかちん」

本コーナーもいよいよ最後、比較的新しいと思われる言葉です。「まっかちん」。これは「アメリカザリガニ」のこと。私にとっては馴染み深い言葉なので全国区かと思えば、典型的な多摩弁とのことでした。

北米原産のアメリカザリガニは成長すると「真っ赤」になり、その色が「まっかちん」の由来だと思うのですが、別の由来も見つけました。それは第二次世界大戦後、日本を統治したGHQの司令官「マッカーサー」からだということです。さすがにそれはないんじゃないかと思いましたが、以前久米川町の古老からこんなことを聞きました。曰く「あの真っ赤なエビガニ（これもザリガニの方言）が、ここいら（これも方言「この辺り」の意）でよく見る様になったのは戦後だなぁ。その前は普通のエビばかりだったよ。」ということです。

アメリカザリガニがウシガエルのエサとして日本に輸入されたのが1927年。最初は神奈川県で管理されていましたが、ウシガエルが食用として日本では定着せず、また輸出もしていましたが戦争でそれも絶えてしまい、遺棄される様になりました。（戦後、輸出が再開されましたが、今度は近代農業による残留農薬の問題で禁輸に。）エサであるアメリカザリガニも同様に日本各地に拡散していったと思われます。戦後それらが東村山周辺でも見られるようになるのと、マッカーサー来日の時期というのが確かに符合する気がします。

アメリカからやってきて、水辺に定着し始めた大きく真っ赤なエビと、サングラスをかけた大柄なアメリカ人を洒落を交えて重ね合わせる……全くない話ではないのかも？と思えました。次回後編へ続きます。（じんだんぼ）

### 報告 10/3市主催の外来生物防除イベント

北川かっぱの会では、東村山市主催「北山公園外来生物防除イベント 目指せ！外来種ハンター！」の運営に協力しました。このイベントは、参加者に北山公園で見られる生き物の観察と外来種の捕獲を体験してもらうことを主眼としたもので、親子連れを中心に多数の応募者があったとのことでした。当日は参加者（当選者）に、会が菖蒲田に仕掛けたアミの点検作業を体験してもらい、捕獲した生物の同定や観察をしてもらいました。当日は捕獲したウシガエル（成体、幼生）やアメリカザリガニの他、北川かっぱの会が捕獲したナマズやトウキョウダルマガエルなども観察することができました。イベントでは公園内に新設された「外来種ポスト（写真）」のお披露目もあり、さっそく公園内で捕獲したウシガエル（幼生）やアメリカザリガニをポストに入れる親子の姿が見られました。





# 報告 北山小4年生の総合的学習を支援しました

北川かっぱの会では、9月16日と10月5日の2回に分けて「外来種」をテーマとした学習を支援しました。9月の学習では、教室で「外来種って何?」、「外来種って何が問題なのか?」、「北川や北山公園で見られる外来種の歴史」、「外来種は悪者なのか?」、「外来種問題をどうやって解決したらいいのか?」など、質問を児童に投げかけ、考えさせながら問題点や解決策をさぐる授業を心掛けました。また、10月の学習では、北山公園内で実際に外来植物(セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、ヒメムカシヨモギ



など)の抜き取りや、外来動物(ウシガエル、アメリカザリガニなど)の捕獲方法の見学や観察を体験してもらいました。全体的に児童からの質問も多く寄せられ、このテーマについての関心の高さがうかがえました。

## 自然が大好き 第七回 一田舎少年

建設コンサルタント業界に就職した。建設という名前がついているがガテン系ではなく、国や地方公共団体に対して土木についてのアドバイスする業務(例えば、洪水で壊れない堤防の設計や地震が起きた時に地盤がどのような挙動を示すかなど)を担っている。業界としては、環境調査を主として行う企業もあるので生き物と全く関係なくはないが、僕が入った会社は地質、土質系なので生き物に触れることはない。ましてや、僕の配属先は解析系なので、パソコンさえあれば仕事ができしまい、外にすら出ない。少し皮肉めいているが、社会貢献度は高い業界であるという自負はあるので、嫌いで

はない。そんな仕事を続けてきた3年目。いわゆる、3年目の壁?というのか、疲れてしまった。



社会人3年目で結婚し、東村山に越してきた。当時は、高田馬場まで1本という理由で、小平あたりに住もうかと考えていたが、家賃の問題でなんとなく東村山に賃貸を借りた。疲れてしまった僕に妻が東村山の地方紙を持ってきた。指差す欄を見ると、「外来種バスターズ」と。妻とは同じ大学で学部は違ったが、博物館実習で出会った。学芸員の資格が取れる(実際は、学芸員にならないと名乗れない資格だが)という安易な気持ちで受講

したが、お互い生き物が好きで意気投合した。

僕は、息抜き程度に行ってみる

## 報告 待望の稲刈り実施.

6月に田植えを行った北山公園西側の田んぼですが、草取りや鳥除けネット張りを経て4ヶ月がたち、10月6日に待望の稲刈りを迎えました。当日は薄曇りのおかげで暑過ぎる事も無く、肉体労働する我々に味方をしてくれました。冒頭に渡部市長から市民田んぼを継続する意味などをご説明いただき、気持ちを引き締めて作業に掛かりました。最初は思いの外ぬかるむ足元に転びそうになりましたが、徐々に作業スピードも上がり、興味津々で見ていた保育園児に説

ことにした。北山公園って、菖蒲まつりで行ったところか？くらいの軽い気持ちで。

明する余裕も出てきました。作業する皆さんも、刈取り・運搬・束作りを分業する事で効率良く進み、ハザ掛けまで順調に終わる事が出来ました。その後は次の作業となる脱穀の説明や、来年度に向けた農閑期の運用などを話し合いました。作業を終えて、稲作はチームワークが肝と実感。(久野)



## 2020年11月～12月 活動スケジュール

**ホ** は **ホ**ランティア募集 の略、**会** は会員のみの略  
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)  
または直接会員にお知らせください

**コロナウイルス感染防止の観点から**以下の活動予定については  
今後、中止となる可能性があります、

「**かつぱブログ**」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

### 定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

11/14、12/12(土) **ホ**

集合:北山小正門前

### 北山いきものクラブ **ホ**

11/14(土) 13～15時 北川や北山公園で捕獲した魚類等の展示と魚とりなど。雨天中止。

### 外来生物捕獲用のアミの点検と撤収作業

11/14(土) 13:00～14:00頃 北山公園。雨天中止(順延)

### 外来生物慰霊祭

11/14(土) 15:00頃(北山いきものクラブ終了次第)

北山公園しょうちゃん池脇で慰霊を行います

### 東村山市環境フェアに出展

11/18(水) 9:00～11/21(土) 15:00(中央公民館1階で北川かつぱの会の展示)

### 狭山公園宅部池「かいぼり」に参加

12/12(土) 詳細はかつぱブログに掲載予定。経験者や会員が参加を希

望する場合には巻末のアドレス宛、ご連絡ください

### かっぱ定例会

11/28(土) 16:00-17:00頃(サンパ  
ルネ3階) 3月頃までの活動予定を  
中心に検討します。

### 多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

11/1 (第1日曜) 9:00~

11/21 (第3土曜) 13:30~

11/18 (第3水曜) 13:30~

畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

### 魚類調査結果(P3) クイズの答

A : カワムツ

B : モツゴ

C : タモロコ

D : カマツカ

E : クロダハゼ (トウヨシノボリ)

### ご寄付に深謝

佐藤留美様

渡辺美枝子様

ありがとうございました。

### 北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』  
北川復元プランのパイロットケースとし  
て、北山公園周辺の北川が変わりつつ  
あります。21世紀の未来の川の姿を探  
る一冊。頒価1000円 送料82円。新  
一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』  
北川公園、八国山を歩くための地図。  
流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面  
版 頒価200円

### 『八国山・北山公園の 生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。  
観察会などイベントで無償配布。

### 『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにど  
んな生き物が見られるか、環境ごとに  
誰もが普通に見られる種を主体に示し  
たマップ。観察会などイベントで無償配  
布。A2両面版。

### かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公  
園一帯の緑の保全とその前を流れる  
北川の清流復活という夢をもって作ら  
れた会です。自然と野外の遊びが大好  
きで、趣旨に賛同、活動に参加できる  
方(参加、入退会自由)を広く募集して  
おります。

●会費 一般会員：年間3000円

支援会員：2年間で2000円

学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

[http://kitagawakappanokai.](http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/)

[cocolog-nifty.com/blog/](http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/)

●会費振込先

[郵便振替 00120-6-1  
04476]

[りそな銀行東村山支店

(普)3605694]

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図  
書館に置いています。

●編集後記 菖蒲田の水が抜かれた  
北山公園の元水辺は、獣や鳥の足跡  
だらけ。夜の公園をそっとのぞくと面白  
そうだ。(遊星歯車)

●発行：北川かっぱの会

連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp

